

「ふるさとの味」を継承し、豊かな食生活を実現

事業実施主体:徳之島町(鹿児島県)

- 徳之島町は、鹿児島市から南南西へ492キロメートルに位置する徳之島の北東部にあり、温暖な気候を生かしたさとうきびをはじめ、マンゴー等の亜熱帯果樹の栽培、ばれいしょ等の野菜類や肉用牛の生産等が行われている。
- 町の第2次食育推進計画(平成30年度～令和4年度)では、「食を通じて心と体を健やかに」を基本理念に掲げ、農林水産業への理解を深め、その良さを生かした食生活の実現を目指し、各種取組を展開。
- 高校卒業後、大半が島を離れる子どもたちへ、自ら食に関する知識と、食を選択する力の習得を目的に食育団体と連携し、地域の食材活用に係る普及・啓発や実習などを実施。

徳之島町



【取組の内容】

【子どもたち等への郷土料理講座】

- 保育園児とその親を対象に、ハンダマ(すいぜんじな)、パパイヤ等の地元の旬の食材を紙芝居やクイズで紹介するとともに、これらを活用した地産地消料理実習を実施

- 島を離れても島の食文化を受け継いでほしいと、高校生を対象に、ソテツ味噌や塩豚の他、保存食を使った一汁三菜の郷土料理実習を実施する等、栄養バランスの優れた食生活を推進

【地域の食文化の掘り起こしと郷土料理レシピ集の作成】

- 食文化の継承に向けて、集落の行事食を聞き取り、レシピ集を作成。郷土料理講座での活用や、町内の学校や関係機関、全世帯に配布し、幅広く普及・啓発



塩豚等、生活の知恵から生まれた行事食を再現



食生活改善推進員が中心となり、高校生に継承

【取組の成果】

- 郷土料理講座では、徳之島の食材だけれど初めて見た、食べたという生徒も多く、食体験を通じ、地産地消による健康で豊かな食生活への意識が高まった。
- 郷土の風土や歴史から生まれた行事食を紹介するレシピ集の作成に、住民が関わることにより、郷土の豊かな食文化を再認識する等、食への理解促進が図られた。
- 継続的な取組により、地域食材を活用し、健康で豊かな食生活の実践に向けた住民の理解が進み、「国産を選ぶ」「食文化を継承している」割合が、前年度より増加した。



郷土の食材に興味津々...



レシピ集を活用し地域の食文化を受け継ぎ、伝えていく